

退職校長会相馬支部会報

そ う ま

北欧の教育に学ぶ

副支部長 島 義一



定年から介護、看病の毎日を通じてきましたが、三年前に父が亡くなり、その半年後に後を追うように母を見送りました。

ようやく昨年、すべての仕事をやめ悠々自適の生活をしようにと考えていたところ、庭木の手入れや先代が丁寧に残してくれたお宝（人はガラクタと呼ぶ物）の整理に追われる毎日を過ごしています。

皆様に不義理を続けた罪滅ぼしと思い、退職校長会相馬支部の役員を引き受けました。たいした仕事も出ず心苦しく思っています。

第87号
■発行者■
退職校長会 相馬支部
支部長 高野 敦夫
■印刷者■
(有)ライト印刷

しかし、いつも、学校のこと、児童・生徒のこと、学力のこと、後輩教職員のことは、頭から離れたことはありませんでした。

教育に関する思い出に、二〇〇七年にフィンランドとスウェーデンの海外研修に行く機会がありました。総勢四十二名の大所帯の視察でした。年長と言うこともあり団長という大役を仰せつかり、二十八施設での英語による挨拶に四苦八苦した思い出が強く残っています。帰国後に作成した報告書の「はじめに」に次のことを書いていました。

「二〇〇六年のPISAの結果が発表になりました。今回もフィンランドは素晴らしい結果でした。すべての国民が国を支える大切な

担い手であるという観点で、しっかりとした職業指導を行うとともに、一人一人に応じた丁寧な教育を行っていました。また、スウェーデンにおいては、教育や福祉が充実し、勉強のやり直しがしたければやり直しをすることができる国であると感じました。」

目的意識を持たせる教

稿「相双地区県立学校の近況」

寄

福島県高等学校長協会相双支部長
(福島県立原町高等学校長)

中 野 茂



はじめに、日頃より貴会会員の皆様には、地区県立学校教育及び教育行政に様々なご支援・ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、地区内の少子化の勢いはとどまるところを知らず、令和七年度募集定員において、相馬総合が四クラス定員となり、ふたば未来学園を除く、相双地区の高等学校が四クラス以下の定員となることが決定して

育、丁寧な個別指導、リスニングなど現在私たちが取り組んでいることを北欧では、すでに取り組んでいました。一朝一夕に教育効果が表れるものではありません。子どもや親、そして教師が一丸となって、強い目的意識を持たせる教育が必要であると考えています。

と校名変更し、一月より檜葉町で再開いたしました。これにより、南北に長い相双地区に2つの特別支援学校がそろい、それぞれの地域の支援の必要な生徒を受け入れるとともに、各校種において学び等に困難を抱える児童生徒へのセン

ター的機能の充実も図られ、丁寧な支援・指導が行き届く体制が整いました。ところで、会員の皆様の後進となる教員育成については、普通科の特色化の取り組みとして、原町・相馬に教育コースが設置され、大学との連携のみならず、市教育委員会、小・中教育研究会のご理解をいただい

おります。

クラス減が実際に志願動向にどの程度の影響を与えるかは蓋を開けてみないとわかりませんが、志願倍率としては一倍少し超えるか、定員割れの現状が大きく変わることはないと思われます。いづれの学校においても、会員の皆様が思う以上の幅の広い学力層と学びに困難を抱える生徒を受け入れながらの学校経営となることと思います。

一方、特別支援教育においては、平成二十四年来的わきの地にありました富岡支援が、本年度ふたば支援

以上、地区県立学校近況ご報告いたします。今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。



楽しさの

見つけ方は様々

森 仁市



私は、十五年前には考えもしなかった日常を過ごしている。東日本大震災がそれまで描いていた予定を劇的に変え、悠々自適な生活の予定が、精力的に働く日常になってしまったのだ。

しかし、考えようによっては、健康上は良かったのかもしれない。なぜなら、思った以上に体力低下がなく、世の中の新しい知識に対しては敏感で、何より

も、「してみたい何かがある日常」を過ごしているからだ。もちろん、仕事に関する知識獲得は半ば強制的な部分もあるのだが、元来怠け者の私には、それぐらいがちょうど良いようだ。

仕事に関して頭を使っているのは、北は宮城県、西は高知県まで出張し行っている情報モラル・セキュリティ教育やプログラミング教育の講演や授業だ。相手学校や団体の実態に即してオリジナルの内容を提供しているもので、なかなか手間がかかる。また、内容に間違いが無いように事前調査も必須であるため、大きな声では言えないが現職の時に以上文科省のホームページはよく見るようになった。

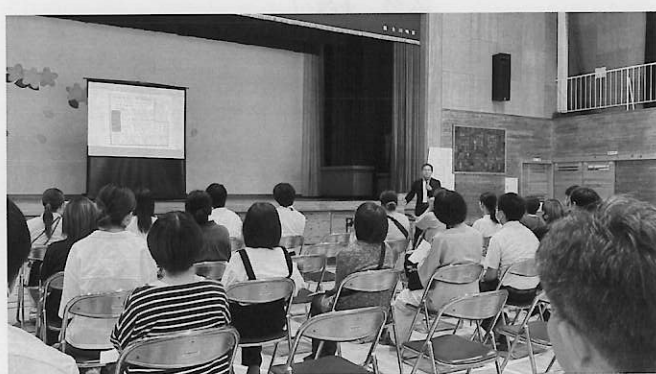
それにしても、活動が伴う子どもたち相手の授業の時は楽しい。「今日は楽しかった。」「また今度来てくれる?」などと言ってもらえたときはなおさらだ。

さらに、今一番頭を使っているのは、プログラミング言語だ。福島県教育委員会がGoogleの利用を推進しているため、それらの

各種ソフトを連携づけることのできるGAS（プログラミング言語）が扱えるようになればおもしろいと考えているのだ。このGASと呼ばれるプログラミング言語は、JavaScriptという言語をベースに作られているのだが、現在の私の脳では覚えたとおもってもすぐ忘れるのでなかなか手強い。しかし、ChatGPTという強い味方が利用できる中で、それを駆使し現在奮闘中である。

奮闘中といえば、忙しくてゴルフのラウンドはなかなかできないが、その代わり、出張の宿泊が続くときには、飲み屋ではなく、ゴルフ練習場に出かけることにしている。特に茨城県はゴルフ練習場が本場に多い。それらの中で、私が利用する練習場はたった千円で好きなだけ打たせてくれる。打席の後ろにスマホをセットし遅延カメラのアプリを立ち上げて練習するのだが、これがなかなか思い通りにいかない。思い通りにいかないとムキになる。ムキになると体を痛めて後

で反省するといったことの連続である。さて気になるその成果だが、経験者はご存じの通り、スコアメイクはアプローチとパッティングなので、ここでは不問としたい。



三日坊主の日々

伊藤 浩樹



定年後一年間、県の会計年度職員としてお世話になりましたが、その後、完全にリタイアして、今はのんびり過ごしています。かつての緊張の日々を思い起こしながらも、毎日の穏やかさにどっぷりつかって暮らしています。一匹五〇円で買った金魚を数匹、庭の池に放ったのですが、今では数十センチに成長した金魚に餌をあげるのが、毎日の楽しみです。

以前怪我した膝のため、思うように運動もできず、さらに緊張感のない日常で、体重が増える一方なのが悩みといえば悩みです。

そこで、体力作りにと、息子が使っていた古いマウンテンバイクを引っ張り出し、パンクを修理し、オイ



ルをさして乗ってみました。二年間の不摂生は、体力の衰えに如実に表れています。三〇分程度近所を乗ってみるのですが、とても疲れてしまい、いつも目標地点まで到達できず、帰ってきます。始めた当初、土曜、日曜になったタイミングで、土日くらいはと、自分に言い訳してお休み。そのうちに気温も低下してきて、今は長期休暇中です。よく「三日坊主は・・・」と言われます。でも考えてみれば「三日間はできる」わけだし、やらないよりはましである。自分に言い聞かせています。これからできるだけインターバルを短くして「三日坊主」を繰り返していきたいと思っています。今日この頃です。

充実した一年

只野 正教



原稿依頼の二巡目がきた。体調の善し悪し、家庭の事情色々あるが、これは断われない。第一、係の方に迷惑がかかる。後釜探しなど広報担当をした経験からよく分かる。

筆を執る。何を書くか思案する。困った、筆が進まない。思考停止だ。なぜだろう。退職して十数年経ち頭が固くなったのか。脳軟化、認知症、健忘症などいろんな病名が去来する。しかし、結果は明快。要するに、気分が乗らない、意欲が湧かない、書くネタがない、色々理由付けをするが何の事はない面倒臭いだけの自分に速攻で気づく。さて、社会との接点が乏しい自分には退職校長会の仲間との繋がりは貴重だ。

リハビリがてらのパークゴルフを楽しめるのも校長会のお陰であり大いに感謝している。11月にあった大会も楽しかったが、結果はブービー賞。身体の高齢と共にスコアは年々悪くなっているが、4コース歩き通せたので大満足だ。

至福の時間は朝だ。人より早く起きるのがポイント。朝茶が旨い。今年の果樹は成績が良かった。ポポーにキュウイ、スモモ、柿も良く実った。私自身も充実した一年だった。

読書の楽しみ

高橋 恵子



最近の楽しみといえば、時間を見つけて読書をする事です。

始めるきっかけとなったのは、数年前のコロナ禍です。必要のない外出はせず、

出来るだけ人との接触を避けるようにといわれていたので、室内で過ごす時間がいつきに増えました。そんな時、読もうと思って買った本や読みかけの本が机の上に積まれたままになっているのを見て、

「そうだ。今が読む時。」と、引っ張り出したのが始まりでした。

最初の頃は、年間二百冊を目標に手当たり次第に読み進めていましたが、今は年間百二十冊を目指して読んでいます。月に三、四回図書館に行き、本を選んで借りるのが楽しみの一つです。お気に入りの作家の棚に直行し、まだ読んでいない本を見つけると、すぐに手に取っています。

現役時代は、様々なことに追われ、ゆっくり読書する時間がもてなかったのですが、今好きな本を好きなだけ読めるのは、うれしい限りです。

これまで読んだ本の中に、現役時代の医師が医療現場を舞台にして書いた「臨床の砦」や「レッドゾーン」があります。コロナ治療の

最前線に立ち続ける医師達の緊迫した様子が、コロナ禍の状況と重なって、その大変さがひしひしと伝わってきました。

人に薦められたのがきっかけで、今野敏氏の任侠シリーズや刑事ものの本を十数冊続けて手に取りました。登場人物の機知に富んだ行動や展開に引き込まれ、さらに予想を裏切る結末を楽しみながら読んでいます。

また、「本好きな孫達が喜ぶのはどんな本かな」と考えながら、本屋で本を選ぶのも楽しいものです。子ども向けに書かれている絵本でも大人も十分に楽しめます。孫と一緒に読むと、楽しみは倍増します。

何気に取り上げた本の内容に引き込まれ、お気に入りの作家になることも多々あります。本を読むと、経験できない世界に入り込み、考えが広がる面白さを味わえる気がします。

さて今日も、美味しい飲み物に菓子を添え、本を開いて悠々と楽しい時間を過ごしたいと思います。

クラブ活動

釣りクラブ

杉浦 伸吉

会員の多くの参加を願って、本年度から土曜日に開催することになりました。

六月は、相馬港「釣り棧橋」で実施しました。土曜日は、家族連れなど多くの人がいきましたが、小さなメバルなどの魚しか釣れませんでした。

七月は、仙台港「釣り公園」で実施し、サバ、シヤコなどが釣れました。この公園は、施設も景色も良く、一日気分転換に過ごすのに最適な場所です。

九月は、宮城県亘理町鳥の海「荒浜釣り公園」で実施しました。きれいな釣り公園で、傍には日帰り温泉（宿泊可）もあり、釣りや海岸の散策、温泉などでのんびりと過ごすことができそうです。釣果は、小さなタイ（チダイやチヌ）、ハゼが釣れました。

十一月は、恒例の一泊二

日で檜原湖公魚釣りを実施しました。水温が高いと小さな魚（モロッコ）の活性が強く、公魚より多く釣れましたが、公魚一〇〇匹は超えました。

また、予定外に、十月に松川浦湾内でアイナメ、キス、チダイなどの舟釣りや日光中禅寺湖での公魚釣り（一泊二日民宿）を実施しました。

その時その時で釣果に差がありますが、釣り仲間で競い合いながら、近況報告をしたりして一日を楽しく過ごしています。参加希望の方は、事務局までご連絡ください。

ゴルフクラブ

菅野 耕平

健康的で心身共に充実した日常を送ることを目標にスタート。早八ヶ月経過、異常とも言える夏場の暑さの中、楽しむより辛さを感じた時も？自己管理に努め

負けずに切り抜けました。この経験を残された十二月以降、冬場も寒さの面にも注意し、参加者全員一致協力して、プレーしていきたいと思っています。

前半の優勝者は、

- 【四月】 寺岡 弘之
- 【五月】 ※雨天中止
- 【六月】 高野 敦夫
- 【七月】 鎌田 由人
- 【八月】 西 信一
- 【九月】 但野 真一
- 【十月】 松本 安彦
- 【十一月】 高野 逸夫

（※敬称略）



これ迄を振り返ると、競技プレーは大きな変化は見られませんが、気候変動、特に気温変化の大きさには

囲碁クラブ

大谷 一裕

今年度の年間活動は、次の通りでした。

○親睦囲碁のつどい

今年度は、久しぶりに、二回実施することができました。十一月二日(土)と十一月十七日(日)の午前中、原町区大町交流センターで実施しました。延べ六名の参加がありました。

和やかな雰囲気の中、対局が行われ、次回を期待しつつ終了することができました。

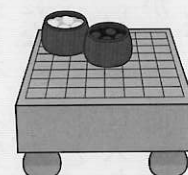
そのため、年明けの一月十八日(土)に、三回目を行う予定です。

○囲碁部員の動向

当クラブも会員が少なくなってきました。会員の岩本勝博先生が亡くなられました。謹んでお悔やみを申し上げます。

新入会員もありました。佐々木徹先生です。とてもうれしいことです。

今後も、若い年代にも、囲碁に興味を持ってもらえるよう工夫していきたいと思っています。



俳句クラブ

江井 芳朗

今年度は、八月に懇親会を含め、研修会を予定しておりましたが、コロナ禍のため中止しました。マスクしてでもとの考えもありましたが、我々退職後の年齢を考慮し、万一のことも合わせての決断でした。

また、俳句クラブでは、大変悲しい出来事がありました。いつも楽しんで俳句を作り、「そうま」にも出句頂きました草野博夫先生が亡くなられたことです。先生は生きのよいトマトや胡瓜、馬鈴薯作りなど、家族のためにも、研究して作られ、それが、自身の句として残されており、人間性の豊かな句です。

振り返り、先生の句、十句をあげてみますと、

青虫と争ひ勝利大きやべつ
集団で一歩しつっこき油虫
冬至南瓜喰ふコロナ予防哉
白菜の太るを期待キムチ鍋
自家搾る玉葱ジュース

葉を挿してトマト増やせる
テクニク

立秋や頑固な草の根を迄る
雑草より勝る力や茄子胡瓜
鴉の奴菜園トマト食散らす
青胡瓜味噌付け齧る幸せよ

「青胡瓜」の句が先生の
最後の遺句となりました。

俳句クラブ一同、先生を
偲び、ご冥福をお祈りしま
す。

パークゴルフクラブ

浜名 俊明

本年度も「親善パークゴ
ルフ大会」を全員の協力で
実施することができました。

十一月七日(木)午後、東武
P G 場に於いて、十一名が
三十六ホールに挑み、その
結果は、次の通りです。

(※敬称略)

【優勝】 梅田 正彰

【準優勝】 本田 進

【第三位】 鈴木 進一



日頃の練習の成果を十分
に発揮でき、楽しい大会に
なりました。次年度も計画
しますので、多くの方の参
加を願っています。

また、毎週火・木曜日の
午後に、東武 P G 場で有志

誠におめでとうございます

◆地方教育行政功労者表彰

渡 辺 金 作 先生 (元南相馬市教育委員)

による練習会も行っていま
す。パークゴルフを楽しむ
ことを目的にやっています
ので、ぜひ参加をお待ちし
ています。

園芸(庭木)クラブ

渡部 長男

秋があつという間に終わ
った感じの今年でした。だ
が、野菜・庭木は、順調に
成育しました。

野菜は、その時季に合わ
せて手入れをしたため、収
穫は豊作でした。しかし高
温のため野菜も庭木も病気
になり、消毒が大変でし
た。年々強い薬を使用しな
いと、なかなか効かなかっ
たようです。

次に、よい野菜を作るた
めには、やはり土づくりが
重要です。元肥に、たい肥・
油かす・米ぬか・鶏糞・腐
葉土等を入れて、土づくり
に励みました。手を抜かず
ひとつひとついいねいにす

れば、必ず成果があります
ので、「頑張りましたよ。」
を合言葉に情報を交換した
りました。

でもなかなかうまくいか
ないのが野菜づくりです。
とても奥が深いと痛感して
います。



(※次年度、庭木クラブは
休部させていただきます。)

事務局より

【東北地区協議会福島大会】

東北地区退職校長会協議
会が十月八・九日、福島市
で開かれ、県内各支部長も
参加しました。

全国連合退職校長会会長
の講話の中に、退職校長会
は熱意ある先生を支援する
OB会でありたい、公立学
校でもPTA活動以外に学
校支援活動を進めていき
たいとお話がありました。

話題提供では、「充実し

た生き方や地域の教育・文
化の向上に資する活動はど
うあればよいか」の協議題
のもと、宮城県(仙台支部)、
山形県(米沢支部)、福島
県(県総務部)の三県の発
表がありました。

各県とも会員の高齢化に
よる活動の制限や会員の減
少という共通の課題を抱え
て活動していることがよく
分かりました。

その他、岩手県から、平
和・人権教育に貢献する観
点からウクライナの絵本を
学校に配付した活動の報告
もありました。

【六十年のあゆみ】

県の退職校長会創立六十
年にあたり記念誌を発行し
ます。相馬支部でも「五十
年のあゆみ」に倣って作成
し、提出しました。

原稿作成中、東日本大震
災と福島第一原発事故に伴
う会員の避難や統廃合によ
る学校数減少など、相馬支
部に重大な出来事があった
十年間だったことを改めて
思い返しました。

詳しくはお手元に届いて
からご覧下さい。

(支部長 高野敦夫)

特別企画

山野辺 久先生

『相馬市尾浜
相馬地区の暮らしと産業』

刊行記念

刊行に寄せて

支部長 高野 敦夫

支部会報の文芸欄の「川柳」に、毎号作品を寄せられている相馬地区の山野辺久先生が、『相馬市尾浜松川地区の暮らしと産業』（写真）を刊行されました。「賀寿」のお祝いをお届けに行った支部役員に、自らそのことを話されたそうです。

今回、山野辺先生にこの刊行物を手がけるきっかけやご苦労、できあがった今のお気持ちをもとめてご紹介いただきますのでご紹介します



「相馬市尾浜

松川地区の暮らしと産業」

の執筆に際して

山野辺 久



鵜の尾岬灯台が建っている尾根から南に、松川浦を望む浦辺一帯は「大字尾浜字松川」という地名になっておりますが、現在は居住している人は居りません。しかし、昭和十九年までは、四十戸ほどの松川集落がありました。太平洋戦争末期の昭和

十九年に、この松川集落は、国の命令により、殆ど原野の状態だった船越・平前地区方面へ移転することになって新しく生まれた町が現在の松川地区の集落です。

元の松川地区の人達によつて造られた新しい町なので、「松川」という町名がそのまま残って、現在も通用しているのです。

この松川行政区は、「相馬市中村東部第四行政区」として、現在は二百五十戸ほどの大集落に発展してきました。

今回、この松川地区のあゆみを尋ねる資料として、

相馬市尾浜
松川地区の暮らしと産業

附：ふるさとのあゆみ年表

明治元年(1868年)～平成31年(2019年)
《戊辰戦争から平成の終りまでの150年の歩み》



この冊子を作成したものであります。

附録として『ふるさと
のあゆみ年表』明治元年(一八六八年)～平成三十一年(二〇一九年)の百五十年間の関係年表を作成してみました。

徳川幕府三百年の幕藩体制と鎖国政策に終わりを告げ、明治維新による天皇を中心とした近代国家建設が、どのように進められてきたのかを探ってみたいと思つたのです。

なにかの機会に参考になればと思ひ、この冊子に挿入させて頂きました。

ご冥福をお祈り
申し上げます

故 草野 博夫先生(88歳)

令和6年9月13日逝去

昭和35年法政大学卒。

昭和36年滝根町立菅谷小学校を振り出しに新地中、草野中、向陽中、尚英中に勤務。

昭和61年三阪中教頭、中村一中教頭を経て、平成4年請戸小学校長に昇任。

平成9年石神中学校長を最後に退職。

故 堀川 利夫先生(77歳)

令和6年9月30日逝去

昭和44年東北学院大卒。同年田島中学校を振り出しに、宮本中、都路一中、津島中、尚英中、福島県教育センター研修後、昭和63年津島中教頭。平成3年相双教育事務所指導主事、平成4年福島県教育庁指導主事を経て、平成6年大野小学校長に昇任。平成10年福島県教育庁主任指導主事、平成11年教育センター情報教育部長、平成13年相馬市教育委員会学校教育課長を経て、平成15年中村第一中学校長として勤務し、平成19年、中一中を最後に退職。その後相馬市教育長を務めた。

東 西 南 北

新地地区

十一月十七日に鹿狼の湯を会場に、相馬市・新地町合同で紅葉狩りを開催しました。十名に満たない参加者でしたが、天候にも恵まれ近況を語り合うなど久しぶりに交流を深めました。

十一月二十七日には、コロナ感染症防止のため中断していた現職の校長先生方との懇談会を、ホテルグランド新地で開催しました。

現職の校長先生方とは初顔合わせでしたが、食事をしながら、学校の現状や課題等を聞かせていただくとともに、わたしたちができる支援があれば要請してほしい旨を伝えたところです。

(吉田 雄二)

相馬地区

相馬市退職校長会は、九月に現職校長との合同研修会「重陽会」を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症や感染生徒の増加から、今年も

中止しました。

しかし十一月に予定しました「紅葉狩り」は、十一月十七日、当初十一名の参加でしたが、諸事情から当日八名の参加を得て、五年ぶりに、鹿狼の湯「どんぐり」で、再開することができました。

来年度は両方の行事を開催したいと思います。その時には出席をよろしく願います。

(吉内 次夫)

南相馬市鹿島区

今年は、区会員の無理にならないよう配慮して、実施しました。

一、区総会(四月六日)

鹿島交流センターで実施し記念写真を撮りました。

二、パークゴルフを、希望者で楽しく行いました。

三、教和会(八月三十一日)区内現職校長三名と懇親会を、亀八で行いました。

四、施設見学と忘年会

(十二月十二日)

ロボットテストフィールド

ド見学後、忘年会を亀八で行い、楽しいひとときを過ごしました。十名の参加でした。

(大谷 一裕)

南相馬市原町区

九月に第一回役員会を開き、秋の紅葉狩り研修会の開催と次年度の事業内容の検討をしました。

秋の紅葉狩り研修会(パークゴルフ)は十一月二十一日に参加者九名で実施しました。昨年に続き二連覇で高倉胤尚氏が優勝、同点で準優勝に大石力弥氏、第



三位に鈴木進一氏が輝きました。晩秋の青空の下、楽しい一日となりました。夕方からの懇親会では、プレーを振り返りながら楽しい時間となりました。

三月には、第二回役員会を開く予定です。

(山邊 彰一)

南相馬市小高区

今年度は五月十八日に浮舟文化会館において総会を行いました。小高小・小高中学校の校長先生においていただき、小高区の学校の現状や課題などについて学校要覧などをもとに詳しくお話しいただきました。学校のニーズに応じて会としてできる範囲で協力したいとお伝えしました。

十一月現在では、「黒松会だより」十九号の原稿を会員に依頼し、寺岡先生にまとめていただき、皆様の近況や思いを冊子にして年内に発行する予定です。

(金谷 哲)



故 遠藤 時夫先生(85歳)

令和 6 年 10 月 16 日逝去

昭和 36 年東北大学を卒業。同年会津農林高校宮下分校を振り出しに、相馬高校、原町高校、福島県教育庁指導主事を経て、昭和 62 年富岡高校教頭に。相馬高校教頭を経て、平成 5 年四倉高校校長に昇任。平成 11 年相馬女子高校長を最後に退職。

故 水井 俊雄先生(93歳)

令和 6 年 11 月 16 日逝去

玉川大卒。原町市立大甕小助教諭を振り出しに、小高町、飯館村、原町市等の小学校教諭を経て、昭和 52 年新地町立駒ヶ嶺小教頭に昇任。石神一小教頭を経て、昭和 61 年川内村立川内第二小校長に昇任。平成元年上真野小校長、平成 4 年同校を最後に退職。

故 今村 隆光先生(85歳)

令和 6 年 12 月 20 日逝去

拓殖大卒。昭和 40 年三和村立下三坂小助教諭を振り出しに 42 年に教諭、その後いわき市立小川小、飯館村立比叢小、原町第二小の教諭を経て、昭和 63 年都路村立古道小教頭に昇任。相馬市立飯豊小教頭を経て、平成 6 年相馬市立八幡小校長に昇任。平成 8 年高平小校長、平成 10 年原町第三小校長、平成 12 年 3 月同校を最後に退職。その後、児童センター等に勤務した。

文芸

俳句

江井 芳朗

被災地の田園広げ渡る雁

五年日誌購ふて充てなき

齢かな

真青なる竜の玉に励まされ

寒行僧被災家屋に手を

合わせ

悼 草野博夫先生

畑作へ愉しむる師よ葱の白

金谷 哲

蘇る記憶の数多さんま焼く

4Bを丸く削りて文化の日

移住者は醸し人なり秋高し

水畏れ水を崇めし野分かな

秋灯や被災の町のおにぎり屋

川柳

山野辺 久

たわごとをいそいそ

語り合うふたり

グチみんな溶かしてくれた

青い空

ゆつくりと歩こうノルマの

ない暮らし

呆け頭せめて笑顔は

忘れまい

アツケラカンと続く余生で

恙無い

平間 勝成

孫世代ジーバー狙う

特殊詐欺

諦めと葛藤している頭頂部

忘れまい大人はみんな

子どもだった

あれこれと聞いた感じで

皆抜ける

目障りの許容範囲広くなる

前山 利栄

ああ平和今日もヨークの

鰯

年甲斐もなく挑んでる

わんこそば

酒二合プラス思考に

切り替わる

とつくりがべそかいてる

休肝日

今日こそは今日こそやるぞ

スクワット

彫刻

不動明王像



書



行水も日まぜになりぬむしのこゑ(小西米山)

「無」の時間

阿部 照苑

暇だからと習い始めた「書」でしたが、昇級する度に夢中になり苦にならなくなりました。

年を重ねると身体のアチこちが痛くなったり転ぶことも多くなったりして、書こうと思っても思うようにいかず苛立つことがたびたびありました。

しかし、提出間際になると不思議に何も考えない

伊達 孝行

写真は、今年のひばり生涯学習センター文化芸能発表会に出品した作品です。

高さ三十センチ、横十八センチ、奥行十五センチの像になります。今回特に難しかったのが、本体の後ろの舟形火炎光背と呼ばれる光背の火炎部分でした。船形にするのはもちろんですが、緻密な火炎を彫るのに肩が凝ってしまいました。

会費値上げのお知らせ

お知らせ

四月の総会で会費の値上げを承認いただきましたが、来年度から、会費が四五〇〇円になります。来年度の会費納入の際改めてお知らせいたしますので、お間違いのないようお願いいたします。

編集後記

毎回のことですが、年末の慌ただしい中の編集作業でした。皆さまのご協力ご指導の下、本年度後期の会報もなんとかお届けすることができました。

編集委員も半数が今回が最後の会報作成になります。会員の皆さま、特に寄稿いただいた皆様には感謝申し上げます。

編集委員

森 仁市(新地)
伊藤 浩樹(相馬)
鎌田 由人(鹿島)
◎杉内 律子(原町)
寺岡 弘之(小高)